



会報第5号
2013.6.15

田原市 地域コミュニティ連合会



「田原市地域コミュニティ連合会」は、地域コミュニティによる“自主的なまちづくり”を目指し、地域活動活性化のための調査・研究、定例理事会などの意見交換、交流スポーツ大会の開催、市への要望活動などを行っています。市内全20校区のコミュニティ協議会長が所属しています。(平成23年度発足)

* * * 平成25年度の連合会役員をお知らせします * * *

代表理事

会長
(亀山校区会長)



山本 達夫

副会長
(神戸校区会長)



彦坂 雄三

副会長兼会計
(赤羽根校区会長)



太田 進

理事

六連校区会長



小林直春

大草校区会長



彦坂善弘

田原東部校区会長



村上 誠

田原南部校区会長



中神正篤

童浦校区会長



鈴木 博

田原中部校区会長



加藤武紀

衣笠校区会長



椿 実治郎

野田校区会長



河合熙人

高松校区会長



本田泰敏

若戸校区会長



福井義行

和地校区会長



小久保 昌彦

堀切校区会長



高瀬 勲

伊良湖校区会長



小久保 健一

中山校区会長



高須顕示

福江校区会長



川崎政夫

清田校区会長



大岩宗司

泉校区会長



山内 六男

地域コミュニティ

地域の助け合い

地域に暮らす人々が、心のふれあい・相互理解・連帯意識を高め、みんなで手をとり合って、やすらぎとうるおいのある地域社会を築くことが、地域コミュニティの目的です。

【校区会長】=校区コミュニティ協議会長の略



平成25年度の定期総会等を開催しました

4月12日（金）午前9時から、田原市役所において、**平成25年度田原市地域コミュニティ連合会定期総会**を開催しました。総会では、代表役員の選出、平成24年度事業報告・決算、平成25年度活動方針および事業計画・予算の承認がなされました。

総会の席上、山本達夫連合会長は、「地域の共通課題について、引き続き

調査・研究や実践活動を進め、市業務への協力を図り、地域コミュニティの活性化に取り組んでまいりたい」と述べました。

総会終了後には**定例理事会**（※1）を開催し、午後には華山会館に会場を移して、連合会役員と市内全106の地区自治会長、市長はじめ市役所幹部職員出席のもと、**地区行政連絡会**を開催しました。

地区行政連絡会では、地域の取り組み事例として、神戸コミュニティ協議会（彦坂雄三校区会長）と堀切校区コミュニティ協議会（高瀬勲校区会長）から発表がありました。（概要を3頁に掲載）

●地区行政連絡会



●定例理事会

※1 定例理事会

連合会が毎月開催している会議で、地域課題の意見交換や連合会事業の連絡調整を行っています。偶数月は市の依頼事項について説明を受けており、田原市長はじめ市幹部も出席しています。

平成25年度の活動方針（※2）

目標とする地域社会	誰もが暮らしやすい社会
活動の目標	みんなが参加し、互いに尊重・助け合う地域づくりの場
推進項目	①コミュニティ活動の目的・目標をみんなで共有しましょう。 ②一人ひとりが出来ることから取り組む全員参加のまちづくりを進めましょう。 ③情報交換や交流イベント等により連携意識を高め、人づくりを進めましょう。

平成25年度の事業計画・収支予算

事業計画	4月
定期総会	
定例理事会	毎月
地区行政連絡会	4月
交流スポーツ大会	6月
広報発行	6月・1月
先進地視察研修	7月
連合会要望活動	10月
地域コミュニティ活性化研究会	随時
地域懇談会（※3）	随時
各種研修会の開催	随時
市施策・公益活動等への協力	随時
市審議会等への委員参加	随時
連合会ホームページによる情報提供	随時

収入		
科目	金額(千円)	摘要
1 会費	1,200	各校区協議会負担金
2 市補助金	1,200	運営・計画書印刷 (H24)
3 繰越金	215	前年度繰越金
4 その他	1	雑入
計	2,616	

支出		
科目	金額(千円)	摘要
1 運営費	480	会議費・役員費・事務費
2 事業費	2,022	調査研究・計画推進・広報等
3 予備費	114	
計	2,616	



※3 地域懇談会

各校区協議会の主催で開催される意見交換会。地域の課題について、地域住民と行政が話し合います。課題に関連する地域役員や住民と、田原市長はじめ市幹部が出席しています。

神戸コミュニティ協議会



神戸校区では、『神戸校区まちづくり推進計画』に定められた将来像、**みんなが参加 みんなで学び・創る 活力ある神戸校区**を目標に、地域づくりに取り組んでいます。

◆神戸校区の主な取り組み

【ながら見守り隊】 農作業をしながら、散歩をしながらなど、身構えず気軽に、登下校する小学生を見守るボランティア。現在の協力者は300名。

【竹炭づくり】 神戸大池の横に炭焼窯を平成20年度に設置。竹林の間伐材を竹炭や竹酸液にして市民館で配布。

【盆踊りの集い】 青年会の解散で途絶えていた盆踊りを、校区民のふれあいイベントとして平成19年度に復活。今年から夏祭りへの発展を計画中。

【市民館】 年間利用者は4万人を超える、市内で一番利用されている市民館。

◆谷ノ口地区の取り組み

「田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会」の拠点地区として、自主的な地域活性化に取り組み中。農産物直売所「ええZONEマーケット」開設（毎週日曜）のほか、「表浜ほうべの森（公園）」の整備などに、校区の協力を得ながら、区民一丸で取り組んでいます。



●ええZONEマーケット（谷ノ口公民館）

神戸校区

まちづくり推進計画書
みんなが参加
みんなで学び・創る
活力ある神戸校区



平成19年3月策定・平成24年5月一部改訂
神戸コミュニティ協議会

神戸校区のあらまし

市の南東部に位置し、北は国道259号や汐川に沿った新旧の市街化区域、南は太平洋岸に沿った農業地帯が広がっています。古くからの住民と新しい住民が混在する校区で、市内最大の15の自治会があります。農・工・商業の盛んな地域です。

○人口 6,729人
○世帯 2,390世帯
○面積 約1,062ha
(平成25年4月末現在)

堀切校区コミュニティ協議会



堀切校区では、『堀切校区まちづくり推進計画』に定められた将来像、**自治意識・連帯感の向上で 安全・快適 住みよい堀切**の実現を目指し、地域づくりに取り組んでいます。

◆堀切校区の主な取り組み

【初立池ウォーキング大会】 校区の西に位置する初立池公園（1周3km）で、毎年4月に実施。桜並木を楽しみながらの散策やゲームを実施。

【交通安全花束運動】 JA伊良湖支所前で、国道42号を通過するドライバーに小学生らがメッセージ入りの菊を手渡し、安全運転を呼びかけ。

【校区地引き網】 老人クラブと小学生のふれあいイベントとして実施。好条件ならキスやコノシロなどが大漁。

【アカウミガメを守る会】 地域の有志が、早朝の産卵確認や清掃活動を実施。平成24年度は55頭の上陸を確認。

◆地震・津波被害への備え

海拔5m前後の平地が広がる堀切校区は、南海トラフの巨大地震により約12mの津波がわずか20分で到達すると想定されています。そのため、「津波被災者ゼロ」を目指し、校区や堀切小学校では地震・津波対策に力を入れておらず、昨年度は、さまざまな想定で4回の避難訓練を実施しました。



●避難のため週3回体力づくり（堀切小学校）

自治意識・連帯感の向上で
安全・快適
住みよい堀切



平成19年3月策定・平成24年5月改訂
堀切校区コミュニティ協議会

堀切校区のあらまし

渥美半島の先端から5kmほど東に位置する太平洋岸の地域で、古くからの住民を中心とし、2地区で構成されています。恵まれた自然環境と広い平地を活かした施設園芸が盛んで、菊・トマト・鉢花・観葉植物の全国有数の産地となっています。

○人口 2,046人
○世帯 568世帯
○面積 約880ha
(平成25年4月末現在)



「誰もが暮らしやすい地域」実現への提言

連合会の専門委員会である**田原市地域コミュニティ活性化研究会**では、自治会などが抱えている活動や運営上の共通課題について、調査・研究を行い、2か年（H23-H24）の検討結果をまとめました。

委員は12名で、連合会代表役員、地域役員経験者、女性団体代表、市民館主事、まちづくりアドバイザー経験者（市職員）のほか、愛知大学地域政策学部の鈴木誠教授をオブザーバーにお招きし、全12回の会議を重ねました。

研究テーマは、**地域で取り組んでいく必要のある課題**の中から3テーマ（7項目）を選定し、それぞれ現状課題や参考事例の分析、改善・活用方策をまとめました。

自治会活動などで、今まさに直面している課題について、**実践的に活かせる方策や間接的にヒントとなる事例**をまとめていますので、



●検討風景（新町八幡社）

地域の役員さんはもちろん、すべての市民の方の参考書としてご活用いただければ幸いです。

研究テーマとその概要

◆ 第一テーマ 住民参加の推進

① 自治会加入の促進	自治会加入の現状、加入の必要性、市の支援状況、加入促進策の事例など
② 住民情報の把握	自治会活動に必要な住民情報、情報管理の事例、留意点など
③ 活動参加の拡大	地域コミュニティ活動の概要、参加の状況、参加拡大の事例など

◆ 第二テーマ 地域活動の活性化

④ 地域団体活性化	地域団体の現状、ライフステージごとの役割、活性化の事例など
⑤ 女性参加の拡大	地域活動への女性参加の現状、女性参加の必要性、参加拡大の方向性など

◆ 第三テーマ 地域コミュニティと神社の関係整理・活用

⑥ 神社活動の負担軽減	神社活動の現状、神社活動の重要性、課題・要因、負担軽減の例示など
⑦ 祭礼による地域活性化	祭礼の起源・類型、祭礼の価値・効果、活性化の事例、活用の方向性など

地域コミュニティの相談窓口

=お気軽にご相談ください=

市役所市民協働課

電話：23-3504



課長：鈴木嘉弘



副主幹：松井茂明



主査：廣中有香



主事補：柴田奈津子

【会報第5号】平成25年6月15日発行：田原市地域コミュニティ連合会事務局（田原市役所市民協働課内）

メール：tahara-komiren@city.tahara.aichi.jp